

JO

【ジョウ】



蓮田  市勢要覧
市制施行50周年記念誌

たくさんの

情が見つかるまち



2022 Hasuda 50th Anniversary

MON

【モン】



蓮田  市勢要覧
市制施行50周年記念誌



門を開くと

輝く未来へ



2022 Hasuda 50th Anniversary



黒浜貝塚

感動に出会える蓮田の“情”



元荒川河川敷公園

水と緑に囲まれた自然豊かな日常、楽しくて心躍る情熱に満ちた祭り、旧石器時代からの歴史を物語る情緒ある風物、そして穏やかで温かい人々の人情。蓮田市にはたくさんの“情”があふれています。

黒浜貝塚は縄文時代前期の標式遺跡として考古学上重要な遺跡であり、その謎は多くの人を魅了しています。

元荒川の河川敷公園は、春になると満開の桜が咲き誇り、訪れる人々は桜を見上げ感嘆の声をあげます。

蓮田市の自然、文化、歴史は、住み続けている人、訪れる人の心を動かします。たくさんの感動に出会えるまち蓮田にぜひ一度足を踏み入れてみてください。

目次

Contents

- 1 オープニング 感動に出会える蓮田の“情”
- 特集1 感動に出会える蓮田のJO**
- 3 謎がいっぱい 縄文時代に魅入る
- 5 縄文時代にタイムトリップ ～史跡黒浜貝塚～
- 7 日常に最高の自然があるじゃない
- 9 情熱かけて祭りに一生懸命だ
- 11 古の情景に酔いしれる
- 13 文化財が語る 蓮田の歴史
- 15 蓮田市50年の歩み
- 17 蓮田市資料編 データと数字で見る蓮田
- 21 50周年特別企画 輝く未来を創る 蓮田情熱人
- とかいなかNo.1**
- 23 蓮田暮らしへようこそ
- 25 程よく栄えたまちだから暮らしやすい

特集2 いきいきと暮らす蓮田のMON

- 27 おいしいものには目がないもん！
- 29 文化・スポーツの泉あふれるまちだもん！
- 31 暮らしの便利さと日々の備えがあるまちだもん！
- 33 子どもがいきいきしているもん！
- 35 安心して子育てができるまちだもん！
- 37 オープニング いきいきと暮らす蓮田の“門”



ホームページ



LINE



YouTube



はすぴい公式
Twitter



Twitter



Instagram

市の魅力を
発見してみよう！



蓮田市マスコット
キャラクター
「はすぴい」

発行日 令和4年(2022年)9月
発行 埼玉県 蓮田市
〒349-0193 埼玉県蓮田市大字黒浜 2799-1
<https://www.city.hasuda.saitama.jp/>
編集 総合政策部広報広聴課
☎048-768-3111(代表)
制作協力 株式会社文化工房

The Many Feelings of Hasuda Will Bring You Joy

Hasuda City is rich in feelings, whether it be the feeling of a daily life surrounded by the waters and greenery of abundant nature, the feeling of passion as the festivals make your heart dance, the sentimental feelings evoked by the historic scenery dating from the Paleolithic period, or the gentle feelings of the warm and welcoming people. Kurohama Shell Mound is an important and definitive archeological site dating from the early Jomon period, with mysteries of which fascinate countless people. The riverside park along the Moto-Arakawa River is filled with the blossoming of the cherry trees in springtime, attracting the admiration of innumerable visitors. The nature, culture, and history of Hasuda City moves the hearts of residents and visitors alike. We invite you to come and visit Hasuda, a trip that will surely bring you joy.



謎がいっぱい 縄文時代に魅入る

約6500年前、縄文時代前期には海が現在の蓮田市内にまで達していました。海を臨む高台には集落が作られ、狩猟をしたり、魚や貝、植物や木の実などを採取したりして暮らしていました。人々の営みの面影は今も黒浜貝塚や綾瀬貝塚など数多く残されていて、市内各地で見ることが出来ます。蓮田市文化財展

示館には関山式土器や黒浜式土器の他、旧石器時代や古墳時代、奈良・平安時代の出土品から現代の資料までさまざまな文化財が展示されています。まちの中に縄文時代の不思議が数多く残る蓮田市。土器の文様や、土偶に込められた縄文人の心や願いを知ると感動に出会えます。

黒浜貝塚に入り込んだ海の様子がみられるよ



蓮田の歴史がひと目で分かる!

蓮田市文化財展示館

蓮田市内で見つかったものや市民の皆さんから寄贈いただいたものなど実物を中心に展示している資料館です。VRなどの設備もあり、蓮田市の旧石器時代から現代までが分かりやすい形で展示されています。小学生向けの歴史講座や保育園の遠足など子どもたちの学びの場としても親しまれています。

縄文人たちの暮らしに触れる

黒浜貝塚 国指定史跡

市役所南側に広がる黒浜貝塚は縄文時代前期の貝塚を伴う集落遺跡です。考古学的価値と貴重な自然環境が残されていることから、国の史跡に指定されています。貝塚内からは貝だけでなく動物の骨や土器、装飾品なども数多く出土していて当時の生活を垣間見ることが出来ます。

イチオシ展示品

関山式土器・黒浜式土器

縄文土器は時期や地域によって異なる特徴ごとにグループ化され、初めて見つかった遺跡名をとって名前がつき、時期区分の指標になります。関山式土器は、羽状縄文と呼ばれる鳥の羽のような文様が特徴の土器です。また、黒浜式土器は、関山式土器と比較して、羽状縄文によって描かれる菱形をより強調していることが特徴の土器です。関山式土器は約6500年前頃、黒浜式土器は約6000年前頃に作られていました。



地面に貝が埋まっています



Close Up!

当時はここまで海だった!

綾瀬貝塚 県指定史跡

元荒川の右岸において最も奥に位置する縄文時代前期の貝塚で埼玉県の史跡に指定されています。現在は貝塚神社の境内となっていて2基の鳥居と社殿が建っていますが、境内には今でも当時のものと思われるヤマトシジミなどの貝殻が多数残されています。

The Fascinating Mysteries of the Jomon Period

Roughly 6,500 years ago, in the early Jomon period, Tokyo bay reached as far as Hasuda City. The people then built settlements on high grounds facing the sea. They spent their lives hunting and gathering fish, shellfish, plants, and fruits. Traces of the lives of these people remain today in such sites as the Kurohama Shell Mound and Ayase Shell Mound, and can be viewed throughout the city limits. A variety of cultural assets are on display at the Hasuda City Historical Museum, including Kurohama and Sekiyama Type Pottery, as well as Paleolithic age artifacts and artifacts from the Kofun, Nara, and Heian periods, and even items from modern times. Numerous mysteries from the Jomon period remain throughout Hasuda City. Experience their delights as you learn of the hearts and hopes that the Jomon peoples instilled in their clay figurines.

担当者's Voice

蓮田の歴史と自然が 一度に楽しめる場所に

黒浜貝塚を当時あった海など、縄文時代をより想像できるように整備しています。学びの場としてだけでなく、縄文時代の原風景を味わいながら、散策などが楽しめる地域の憩いの場としても利用してもらえるとうれしいです。



整備前



現在



縄文の海辺が今、よみがえる！

縄文の海

黒浜貝塚内でボーリング調査や珪藻分析などを行い、実際に海だった区域を縄文の海として整備しました。湧水によってできた水辺には渚が広がり、カワセミなどの水鳥や小さな魚を見ることができます。縄文時代の海の景観を体感できる場所として市民の皆さんに親しまれています。

Slip Back in Time to the Jomon Period -Kurohama Shell Mound Historical Site-

Although the Kurohama Shell Mound is located in the center of the city, nature is still preserved, and it is loved, not only by the citizens, but also by many visitors, as a storyteller of the history of Hasuda City. This valuable historical site has been developed under the theme "Jomon Kurohama; Memories of Beach and Forest", to bring the history and nature closer to the city's residents. The historical site is divided into three zones; the Jomon no umi, Shukuura no mura, and Tsubakiyama no mura. By taking advantage of each zone's characteristics, we can clearly depict each location and trace the people's lives from the Jomon period. AR points are also set up within the site where visitors can experience the scenery and lifestyles of the Jomon period through AR and VR, and learn more about this period and enjoy the history from numerous angles.



たくさん歩いたね！

この辺は海だったんだね！



当時の生活を感じながら歩こう！

宿浦のムラ

史跡内に2つあるムラの1つで、窪地状の広場を囲むように住居が広がっていたことが分かっています。発掘調査された貝塚の位置が分かるように整備されており、縄文時代の人々の生活を肌で感じることができます。



黒浜貝塚は市街地にありながら自然が残されており、蓮田市の歴史遺産として市民のみならず、おぜいの人々に愛されています。そんな貴重な史跡・自然を皆さんにより身近に感じてもらえるよう、「縄文黒浜、渚と森の記憶」をテーマに史跡として整備しています。史跡内は縄文の海、宿浦のムラ、椿山のムラなどそれぞれの特徴を生かしてエリア分けされていて、縄文時代の人々の住居跡や貝塚の場所なども分かるように整備されています。また史跡内にはAR（拡張現実）・VR（仮想現実）で縄文時代の景観や暮らしを体験できるARポイントも設置され、いろいろな角度で縄文時代を知り、楽しみながら学ぶことができます。



Let's Go!

当時の暮らしを見てみよう！

史跡黒浜貝塚、

縄文時代に タイムトリップ

感動に出会える

蓮田のJO

スマートフォンやタブレットをARポイントにかざして見てみよう！
実際に縄文時代に
いるような感覚に！



縄文時代の景観や暮らしを体感！

ARポイント

黒浜貝塚ARアプリを利用すると当時のムラや生活の様子、発掘調査時の様子などを見ることができます。その場にいるかのように感じられる縄文人の生活をぜひ体感してみてください（右記画面は窪地の広場内のARポイントで見られます）。

黒浜貝塚ARアプリのダウンロードはこちらから



iPhone



Android





「緑の風を受けて走ろう」

緑のヘルシーロード

見沼代用水沿いに作られた自転車と歩行者の専用道路。総延長は行田市から川口市までの56.5km。蓮田市には白岡市境～上尾市境の9.2kmが整備されています。サイクリングやウォーキングを楽しみながら、四季折々に彩りを変える水と緑の自然を存分に味わうことができます。



自然の風景MAP

水と緑のまち、蓮田市は身近に豊かな自然がたくさん！



「朝日が映る水面に癒やされる」

山ノ神沼

山ノ神沼は自然豊かで数多くの野鳥や魚、植物が生息・生育する身近で貴重な水辺空間です。散策路として遊歩道が整備され、バードウォッチングを楽しむこともできるなど、憩いの場となっています。



「四季折々の風景が楽しい」

元荒川

桜の名所として知られる元荒川。桜の季節にはおおぜいの人でにぎわいます。河川敷公園の広場は子どもたちの遊び場として大人気。鳥や魚などの生き物が多く生息し、桜の時期だけでなく四季を通して自然を満喫できます。

「バードウォッチングの聖地」

黒浜沼

上沼と下沼の2つの沼があり、上沼の周囲には遊歩道が整備され散策を楽しむことができます。周辺には湿生植物や草花、虫、鳥などさまざまな生き物が生息し、野鳥観察会も開催されています。県内でも風光明媚な空間として、県の自然環境保全地域やさいたま緑のトラスト保全第11号地(上沼のみ)に指定されています。



あそこにカワセミがいるよ！



黒浜沼

沼の水路は、ヨシやガマをはじめ絶滅危惧種のジョウロウスゲなどが生息する貴重な湿地を生み出しています。野鳥が四季折々に飛来し、多くの種類のトンボも確認されています。

水と緑に囲まれた自然豊かなまち、蓮田市。元荒川や綾瀬川、黒浜沼、山ノ神沼のような水辺の美しい場所や、蓮田市堀の内ふるさとの緑の景観地のような緑に恵まれた場所が市内各地に存在し、四季折々の風景を楽しむことができます。自然の中を駆け回るもよし、きれいな空気を体中に浴びるもよし、水や緑と触れ合うもよし、季節ごとに移り変わる景色を楽しむもよし。楽しみ方は人それぞれです。さあ、日常の中からあなただけのお気に入りの場所を見つけてみませんか。

The Ultimate Nature in Daily Life

Hasuda City is a community rich in nature, with ample waters and greenery. You can discover beautiful nature scenes all throughout the city, including rivers such as the Moto-Arakawa River and Ayase River, the Kurohama and Yamanokami marshlands, woodlands such as the Hasuda City Horinouchi Furusato, and farmland featuring rice paddies and gardens. There are also various walking paths, offering something for everyone. Visitors can enjoy these paths all year round, with environments changing with the four seasons. And visitors can come face to face with the many living things found there. Visitors can enjoy the environment in their own way. They can dive into nature, bathe in the pristine air, interact with the waters or unify with the greenery. So, why not step outside and find your own special place in nature as part of your daily life?

日常に最高の自然があるじゃない



給水所ではなく
“給スイーツ所”で
待っています！

約470本もの桜が咲き誇る

商工祭さくらまつり

元荒川河川敷公園では、商工祭さくらまつりが開催されます。市内商工業者が、商品や製品をサービス価格で販売するテント村や豪華景品が当たる「ダックレース」などの催しが行われ、多くの参加者でにぎわっています。



歴史と自然を楽しく学ぼう！

うたやの森 フェスティバル

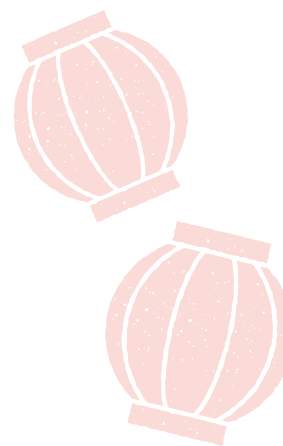
蓮田市は貴重な「^{うたや}雅楽谷遺跡」・「史跡黒浜貝塚」などの遺跡や、「黒浜沼」など自然がたくさん。歴史・文化の継承と自然保護をスローガンに「うたやの森フェスティバル」は始まりました。回を重ねるごとに、さまざまな取組みや企画を行っています。楽しい音楽やおいしさいっぱいの屋台、そして地元を知る学びまでイベントが盛りだくさん。丸一日、うたやの森で蓮田市の魅力をたっぷり味わってください。

給水所では
スイーツが
待っている！

スイーツとマラソン？走れば分かる！

蓮田マラソン ～スイーツまつり～

蓮田マラソンの給水所に置かれているのはなんとスイーツ！10km、3km、421.95mとコースも豊富です。本格派ランナーはもちろん、家族で参加したり、日頃の運動不足を解消したり。豊かな自然の中、おいしいスイーツを食べながら楽しく走ってみませんか？ ※左記スイーツの写真はイメージです。



蓮田市には、食べたり遊んだり踊ったりして蓮田の夏を満喫できる祭りがあります。他にも、美しい風景をめながらおいしいものに舌鼓を打つ祭り、マラソンとスイーツという不思議な組み合わせが楽しい祭り、楽しいイベントに参加しながら歴史や自然を学べる祭りなどなど。

その祭りを作り上げてきたのももちろん市民の皆さん。一度参加すればその熱意、ひしひしと感じるはず！作る側も参加する側も、情熱かけて祭りに一生懸命です！

蓮田の夏といえばこの祭り！

はすだ市民まつり

のくぼ通りで行われる夏のメインイベント。特産品を販売するテント村や市内外から多くの団体が参加する蓮田音頭ヤングバージョン&よさこい、市民の皆さんやはすだ広報大使によるパフォーマンスなどプログラムが盛りだくさんです。誰でも飛び入り可能な盆踊りに参加することで一体感を味わうことができます。



感動に出会える

蓮田の

JO

情熱かけて
祭りに一生懸命だ

Pouring Passion into Festivals!

There are many festivals held in Hasuda City, include the Hasuda Citizens' Festival and the Uta-ya-no-Mori Festival, where participants can enjoy nature, learning, music and food. The many festivals include those where you can entertain your palate while taking in the beautiful scenery, festivals that combine the odd couple of marathon running with sweets, and fun events where you can learn about history and nature. And, of course, each of these festivals and events were created by the citizens. You will surely experience that excitement for yourself if you participate even once. Both the creators and attendees are passionate about the festivals, and bring enthusiasm and energy to each one!



美貌の娘、 寅子の伝説

その昔、長者の家にたいへん美しい寅子という娘がいましたが、押し寄せる求婚者に悩む両親を見かねて心を痛み、自ら命を絶てしまいました。求婚者たちは悔い改め、供養塔を建てて悼みました。実はこの話にはちょっと怖いエピソードがあります。気になる人は調べてみてくださいね。

空にそびえるように立つ

板石塔婆いたいしとうば（通称「寅子石」）

県指定有形
文化財

市の最南端、辻谷にある高さ4m、県下で2番目に大きい板石塔婆です。鎌倉時代延慶4年（1311年）に唯願法師が真仏法師の報恩供養のために建立したものです。この板石塔婆には長者の美しい娘、寅子の悲しい伝説が伝えられていて地元では寅子石と呼ばれています。

日本でここだけ！
芥川龍之介直筆の碑

市指定有形
文化財

関口平太郎顕彰碑 （芥川龍之介の撰文碑）

芥川龍之介と親交のあった蓮田市出身の関口平太郎さんの善行をたたえたもので「正直の頭に神宿るとはこう云う人」と最大限の賛辞が贈られています。全国にある芥川龍之介の碑文の中で最も古く、唯一の自撰自筆といわれる貴重な石碑です。

関口平太郎さんはどんな人？

蓮田市出身の関口平太郎さんは現在の東京都新宿区で按摩業を営んでいる際に龍之介と出会いました。東北地方が大飢饉に襲われたとき子どもたちに学用品を贈ったり、平野村に就学奨励金を寄附したりと善行を重ねた篤志家として知られています。



蓮田市に残る文化財は縄文時代のものだけではありません。縄文時代以降もさまざまな人々が日々の営みを紡いできました。平安時代には元荒川の両岸に砂鉄を利用して鉄製品をつくる鍛冶集落が生まれ、末期には武士が台頭してきました。鎌倉時代には武士が勢力を強めて大きな屋敷を築くようになりました。

た。江戸時代になると村ごとに神社や寺院が建立され、庶民の間にも庚申講や富士講が盛んになっていきました。また見沼代用水の築造により新田開発や江戸と結ぶ船の往来も活発になりました。市内には、このような歴史のさまざまな場面を今に伝える旧跡や民俗芸能・行事があります。

Intoxicated with Ancient Scenery

The cultural Properties found in Hasuda City is not limited to the Jomon period alone. Countless peoples have occupied this area and woven their daily lives here throughout subsequent eras. During the Heian period, a village of blacksmiths was established, who utilized the iron sands on both banks of the Moto-Arakawa River to forge iron goods, and a culture of samurai warriors emerged at the end of that period. During the Kamakura period, those samurai grew stronger and came to build large mansions in the area. Then, during the Edo period, shrines and temples were constructed in each village, and the religious traditions of Koshinko and Fujiko became popular among the common people. Meanwhile, the construction of the Minumadai waterway led to the development of new rice paddies, and travel by boat became available back and forth to Edo (today's Tokyo). Today, there are many historical sites, folk performing arts, and events in the city that speak of this history.



300年前にタイムトリップ！

しきさんば 閨戸の式三番

国選択無形
民俗文化財

県指定無形
民俗文化財

毎年10月の第2土曜日に愛宕神社（閨戸）で奉納される「閨戸の式三番」は、県内で唯一伝承されている式三番です。白い面の翁と面をつけない千歳、そして黒い面の三番叟が舞い、豊年や繁栄を願う民俗芸能で埼玉県は無形民俗文化財に指定されています。地元の人たちで構成される「閨戸の式三番保存会」によって昔ながらの形が守られてきました。3人の立役者や囃子方、地謡を演じるのは若衆と呼ばれる地元の男性たち。舞には種まきや鳥飛びなどと呼ばれる農耕に由来する動きが見られます。由来は定かではありませんが、今から300年以上前の宝永年間（1704～1710年）に閨戸にある秀源寺の僧が愛宕明神を祀った際、五能三番の舞を復活させたと伝えられています。

五穀豊穡を願う農村の神

黒色尉と呼ばれる黒い面をつけて謡い舞う役です。三番叟は野趣に溢れた田の神で、翁とは対象的におもしろおかしくエネルギーギッシュに演じます。翁の舞を分かりやすく説明しているともいわれています。

三番叟
さんばそう

鳴るは滝の水、
日は照るとも～

知ればもっと
面白くなる！

3つの舞

千歳
せんじんこ

奉納神事の露払い役

翁の露払いとしてさっそうと舞う若者を象徴する役で、3人の中で1人だけ終始面をつけずに演じます。奉納のはじめに、御神体である白色尉（翁がつける白い面）、黒色尉（三番叟がつける黒い面）や神楽鈴を納めた面箱を捧げ持つ役割も担っています。

翁
おきな

天下泰平を願う長寿の神

白色尉と呼ばれる白い面をつけて謡い舞う役です。この面は長寿・福德の神を象徴したものであるといわれています。「とうとうたり、とうたり」という歌詞が印象的な謡を謡いながら、静かで優雅な舞を舞います。

千秋万歳の喜びの舞なれば、
ひとさし舞う、万歳楽～

感動に出会える

蓮田の

JO

いにしえ
古の情景に
酔いしれる

文化財が物語る 蓮田の歴史

発見 ① まちに残る古墳群

市内では椿山遺跡（黒浜）やささら遺跡（馬込）、十三塚遺跡（関戸）など6世紀から7世紀末にかけて築造された古墳が発見されています。馬込八番遺跡（馬込）で確認された古墳からは、市内で初めての円筒埴輪が発見されています。



十三塚遺跡



円筒埴輪

発見 ② お宝ザックザク 国内最大級の埋蔵銭

新井堀の内遺跡から国内最大級の埋蔵銭が発見されました。埋蔵銭が納められた常滑焼のかめは、埋蔵銭のかめとしては国内最大級の大きさで、埋蔵量も国内最大級と想定されています。かめの中には墨で文字が記された木片が納められていました。埋蔵された目的は諸説あり、呪術的・宗教的な埋蔵物であるという説と、財産保全のために埋蔵されたという説があります。

□ 二 い 三
□ 百 の □
□ 六 と □
□ 十 し □

木片から判明された文字



過去から受け継いできた誇れる財産！

発見 ③ ほほえみに魅せられて 円空仏

江戸時代の僧円空は、人々を苦しみから救うために旅をしながら数多くの仏像を日本中に残しています。彼の彫った仏像は円空仏と呼ばれ、一刀彫という荒い彫り方が特徴です。埼玉県には円空仏が数多く残っており、蓮田市からは県内で2番目に多く見つっています。



Cultural Assets That Speak of the History of Hasuda

So many artifacts have been unearthed in Hasuda City that today it is known as a treasure trove of buried cultural properties. Each discovered cultural asset is a legacy that speaks of the region's unique history and culture. Each discovery is extremely valuable for offering a way to learn about the lives of the many people who lived here from the past to the present. Here we introduce a chronology of these treasures born over the city's long history, cultivated, and passed on to the generations of today.

発見 ④ もうひとつの鉄道 武州鉄道

大正13年（1924年）、南埼玉郡綾瀬村（現蓮田市）の飯野喜四郎らが中心となり蓮田～岩槻間で開業した民間鉄道です。沿線の人々は蓮田駅で東北本線に乗り換え、大宮や東京に出かけていきました。その後、神根駅（現川口市）まで延伸しましたが、他路線との競合等により業績が悪化、昭和13年（1938年）に短い役目を終えました。蓮田駅東口側の中央公民館脇に線路の面影を見ることができます。



蓮田市歴史年表

2万年前	旧石器時代	市内各所に人々が住み始める
1万6000～2400年前	草創期	
	早期	市内に海が入り込む。黒浜・藤ノ木地区を中心に史跡黒浜貝塚をはじめ、綾瀬貝塚や関山貝塚など多くの貝塚が形成され、大きなムラができる（約6000～5000年前）
	前期	
	中期	宿下遺跡（藤ノ木）や馬込八番遺跡（馬込）に大きなムラができる
	後期	雅楽谷遺跡（黒浜）に大きなムラができる
	晩期	久台遺跡（東）に大きなムラができ、土偶なども残される
	弥生時代	宿下遺跡（藤ノ木）に再葬墓が、久台遺跡（東）に方形周溝墓がつくられる
紀元前4世紀～3世紀半ば～	古墳時代	発見 ① 市内で古墳がつくられる
710～	奈良時代	あらかわづけ 荒川附遺跡（関山）で鍛冶や土師器製造をする集落が生まれる
794～	平安時代	椿山遺跡（黒浜）の鍛冶集落が最盛期を迎える
1185～	鎌倉時代	江ヶ崎城が建造される 板石塔婆（寅子石）（馬込）が建立される（1311年）
1333～	南北朝時代	南朝銘の青石塔婆が建立される（1336年）
1338～	室町時代	発見 ② 埋蔵銭が発見された新井堀の内遺跡（黒浜）や井沼館跡（井沼）など、市内各所に館が建造される
1573～	安土桃山時代	岩付城主太田氏房が真浄寺（黒浜）に制札を発する（1588年）
1603～	江戸時代	発見 ③ 円空が市内へ来訪し、仏像を残す 上関戸地区で式三番の舞が始まる（1704～1710年頃） 見沼代用水が完成する（1728年）
1868～	明治時代	平野村、綾瀬村、黒浜村が誕生する（1889年）
1912～	大正時代	発見 ④ 武州鉄道が営業を開始する（1924年）
1926～1989	昭和時代	綾瀬村が蓮田町となる（1934年） 妙楽寺（高虫）に疎開保育園が開設される（1944年） 蓮田町、黒浜村、平野村の3町村が合併し、蓮田町となる（1954年） 市制を施行し「蓮田市」となる（1972年10月1日）



仮面土偶

みみずく土偶

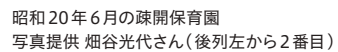


発掘調査時の様子



蓮田市誕生後、各所で土地
区画整理事業や大規模な宅
地開発が進められ、都心から
40 km 圏内のベッドタウンと
して発展してきました。都市機
能と自然の安らぎが共存する
蓮田市、市制施行から 50 年の
歩みを振り返ります。

昭和19年（1944年）11月、戦火を逃れた東京の保育園児53人と保育士11人が妙楽寺に身を寄せ、日本初の集団疎開保育園が開設されました。保育士たちは幾多の困難を乗り越え、ひたむきに保育に力を注ぎました。村人たちも食糧事情の厳しい中、村を挙げて園児たちの食料確保に取り組むなどして疎開保育園を支えました。この話を基に平成30年（2018年）にあの日のおルガンとして映画化され、平和の尊さ、命のたいせつさを語り継ぐ実話として日本中の人たちに感動を伝えています。



Hasuda Town, which was the basis of Hasuda City, was established in May 1954. Eventually Hasuda Town combined with Kurohama Village, and Hirano Village to create a population of roughly 19,000 people. Later, during the period of rapid economic growth, residential land development progressed rapidly, raising the population to 30,000 people by 1970, and in October 1972, Hasuda Town became Hasuda City. Following that establishment, land readjustment projects and large-scale residential development have been carried out throughout the city, helping the city grow rapidly as a bedroom community within 40 km of Tokyo. Look back on the changes over the years since the establishment of Hasuda City, a place where urban functionality coexists with the peacefulness of nature, through this chronology, accompanied by photos.



データと数字で見る

蓮田 1²3...

蓮田市をもっと知るために、人口、経済、福祉及び教育など各分野の統計を紹介します。まちの移り変わりや現状を知ってぜひ一度足を運んでみてください。

HASUDA DATA
蓮田市資料編

平均年齢
(令和4年4月1日現在)
49.46歳

公園数
(都市公園・都市緑地)
(令和4年4月1日現在)
42か所

ごみ排出量
(令和3年度)
17,316t

資料提供：蓮田白岡衛生組合

商業
304事業所
(飲食店を除く)

資料：平成28年 経済センサス・活動調査(総務省・経済産業省)

教員1人当たりの
児童・生徒数
(令和4年5月1日現在)
小学校 **15.8**人
中学校 **13.3**人

交通事故発生件数
1日当たり(令和3年)
0.4件

資料提供：岩槻警察署



刑法犯罪発生件数
1日当たり(令和3年)
0.8件

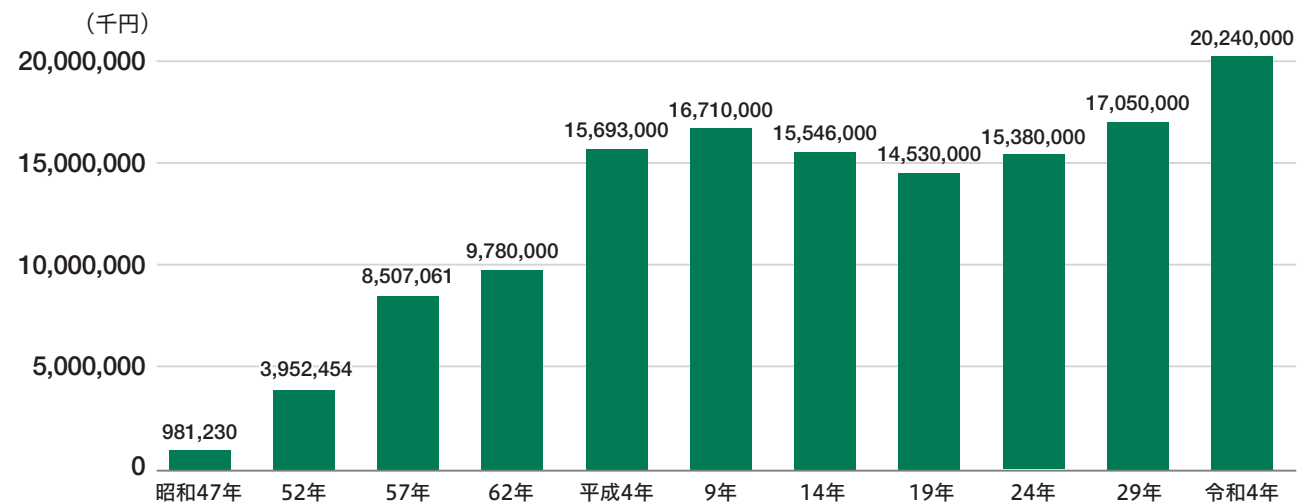
資料提供：岩槻警察署

救急出場件数
1日当たり(令和3年)
7.8件



火災発生件数
(令和3年)
17件

一般会計当初予算額



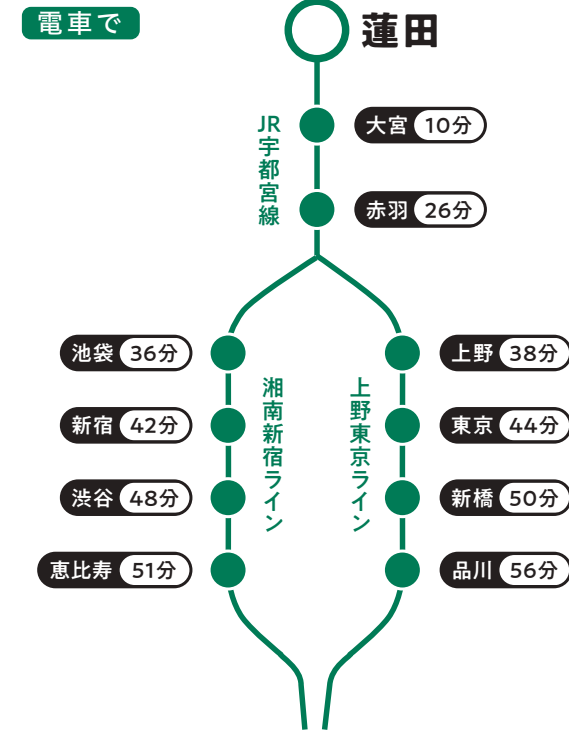
プロフィール

埼玉県の南東部に位置し、周囲を久喜市、白岡市、さいたま市、上尾市、伊奈町、桶川市と接し、東京都心部まで約40kmの距離にあります。

面積 **27.28**km²
人口 **61,474**人
世帯数 **27,907**世帯
(令和4年4月1日現在)



アクセス



車で 〈蓮田スマートICまで〉

霞が関ICから 約45分

羽田空港から 約60分

成田空港から 約90分

市章

中央に「ハ」「ス」「田」の3文字を組み合わせ、その周りに蓮(はす)の花をかたどり図案化したものです。



市の木・花

緑と花を愛し、美しいまちづくりを進めるため、昭和58年(1983年)に市の象徴として市の花・市の木を制定しました。



市の木
はなみずき

春には紅白のかれんな花をつけ、秋にはみごとに紅葉します。樹性は強靱で土質を選ばず、しかも開花期が長く、清らかで、伸びゆく蓮田市を象徴しています。

市の花
すいれん

初夏から初秋にかけて水面に開く花の美しさは、暑さを一瞬忘れさせてくれます。昔から洋の東西を問わず伝説や物語にも幾度となく登場しています。

